

内浦学区まちづくり推進委員会

委員長 檀浦 五郎

（問合せ先） 084-986-3535（内浦公民館）

●地域まちづくり推進事業●

事業内容

(1) ワクワクひろば	(6月～2月	内浦公民館 内浦学区	126人)
(2) まちづくり視察研修	(11月23日		21人)
(3) いきいき楽習講座	(5月～3月	内浦公民館 内浦学区内	190人)
(4) 地域文化祭	(10月20日	内浦小学校体育館	150人)
(5) 人権啓発・住民学習	(8月～9月	内浦学区内5町内会	82人)
(6) 運動会	(5月26日	内浦小学校グラウンド	200人)
(7) ふるさと再生・発信活動	(6月～2月	水仙の里	1,000人)
(8) 環境衛生・美化活動	(5月～10月	各地域の清掃	500人)
(9) まちづくり運営事業	(通年	内浦公民館 内浦学区内)



ろこぎ教室



もちつき体験教室



みそづくり教室



成果

- ① 持続可能な活動の推進という視点で、部会制を敷いた初年度であったが、それぞれの部会が責任をもって事業（企画→運営・実施→整理）を実施できた。
- ② 所期の目的である中心役員の負担軽減（責任，権限）を図ることができた。

課題

- ① 若手世代の発掘・登用が喫緊の課題ではあるが、そもそも若い世代が少ないことに、根本の悩みがある。
- ② 子どもの数が少なくなり、世代間交流事業の実施が難しくなっている。
- ③ 超高齢化が進展し、将来のまちづくり活動の持続に不安を感じている。

人権啓発活動

II

「すべての人が大切にされるまちづくり」

～『600人の町には、600の大切な命と人権がある』～

○地域別住民学習では、「すべての人が大切にされる地域づくり」をメインテーマにすえ、毎年各自治会が主体的に開催日時を決め、実施している。



地域別住民学習会

2019年度は「親愛なるあなたへ」を教材に、600人の人が暮らす内浦学区には、600人の大切な「命と人権」があることを確認しあうことができた。

また「恩送り」という言葉を学び、子や孫の世代にずっとつないでいきたい「こころ」であると確認しあえた。

わずか600人という人口の過疎地域であるがゆえに、一人ひとりが大切にされるまちづくりが重要であり、高齢者が主役にな

れるまちづくりを中心にすえる考え方が示された。

○年に3回、人権啓発・生涯学習部会から「人権啓発だより」を発行している。

住民学習前後に、参加の呼びかけや学習内容等を事務局で練り、なるべく平易に読める記事を心がけている。住民学習での意見やアンケートに書かれた意見の紹介もフィードバックしている。

○人権啓発ファイルの作成・全戸配布

福山市出身のイラストレーター、檜山文さんの作品の持つ世界観が、「すべての人が大切にされるまちづくり」に最もふさわしいと考え、イラストの使用許可を受け人権ファイルを作成・配布した。

人権週間の時期に配布したことで、世界人権宣言も紹介し、人類共通の普遍の価値である人権の大切さを併せて啓発することができた。



(表)



(裏)